



## 大形徹教授 略歴と研究業績一覧

|       |   |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2020-04-07<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者:<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="http://hdl.handle.net/10466/00016776">http://hdl.handle.net/10466/00016776</a>     |



大形徹教授 近影

1/30/2020

Photography by Ruma

## 大形徹教授 略歴

|      |              |
|------|--------------|
| フリガナ | オオガタトオル      |
| 英字氏名 | Tohru OHGATA |
| 氏名   | 大形 徹         |
| 生年月日 | 1954年7月28日   |

| 年月      | 学校名等                          | 入学・卒業    |
|---------|-------------------------------|----------|
| 1961年3月 | 明石市立藤江幼稚園                     | 卒園       |
| 1967年3月 | 明石市立藤江小学校                     | 卒業       |
| 1970年3月 | 明石市立望海中学校                     | 卒業       |
| 1973年3月 | 兵庫県立加古川東高等学校                  | 卒業       |
| 1973年4月 | 大阪大学文学部                       | 入学       |
| 1977年3月 | 大阪大学文学部哲学科                    | 卒業       |
| 1977年4月 | 大阪大学大学院文学研究科修士課程哲学哲学史（中国哲学）専攻 | 入学       |
| 1979年3月 | 同上                            | 修了（文学修士） |
| 1979年4月 | 大阪大学大学院文学研究科博士課程哲学哲学史（中国哲学）専攻 | 入学       |
| 1982年3月 | 同上                            | 単位取得満期退学 |

| 年月        | 所属先                    | 職名   |
|-----------|------------------------|------|
| 1982年4月   | 大阪府立大学・総合科学部           | 助手   |
| 1988年4月   | 大阪府立大学・総合科学部           | 講師   |
| 1992年4月   | 大阪府立大学・総合科学部           | 助教授  |
| 2002年4月   | 大阪府立大学・総合科学部           | 教授   |
| 2005年4月   | 大阪府立大学人間社会学部           | 教授   |
| 2016年4月   | 大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 | 教授   |
| 2016年4月～  | 立命館大学招聘研究教員（衣笠総合研究機構）  | 教授   |
| 2016年12月～ | 華東師範大学                 | 兼職講師 |

| 非常勤講師    |                                |       |
|----------|--------------------------------|-------|
| 1981年4月  | 山手女子短期大学（1982年3月まで）漢文学         | 非常勤講師 |
| 1982年4月  | 大阪成蹊女子短期大学（2006年3月まで）漢文学       | 非常勤講師 |
| 1985年4月  | 梅花女子大学（1989年3月まで）中国文学          | 非常勤講師 |
| 1992年4月  | 愛知大学（1993年3月まで）中国文学            | 非常勤講師 |
| 1993年4月  | 和歌山大学（1994年3月まで）哲学             | 非常勤講師 |
| 1996年4月  | 大阪府立看護大学（1998年3月まで）倫理学         | 非常勤講師 |
| 2000年4月  | 新潟大学（2001年3月まで）12月に集中講義 中国哲学   | 非常勤講師 |
| 2004年4月  | 佛教大学大学院（2007年3月まで）中国文学         | 非常勤講師 |
| 2006年4月  | 大阪大学（2007年3月まで）8月に集中講義 中国哲学    | 非常勤講師 |
| 2006年4月  | 鳴門教育大学（2007年3月まで）12月に集中講義 中国哲学 | 非常勤講師 |
| 2011年4月～ | 福井大学 8月または3月に集中講義（白川文字学）       | 非常勤講師 |
| 2011年4月～ | 放送大学（大阪学習センター）6月または10月 漢字学     | 非常勤講師 |
| 2011年4月～ | 森ノ宮医療大学大学院 東洋医学史（2016年より集中聴講）  | 非常勤講師 |
| 2012年4月  | 神戸大学（2012年3月まで）8月に集中講義 中国文学    | 非常勤講師 |
| 2012年4月  | 関西医療大学（2013年3月まで）中国思想          | 非常勤講師 |
| 2012年4月～ | 関西大学大学院（修士課程・博士課程）中国哲学         | 非常勤講師 |
| 2019年9月  | 鳥取大学（2020年3月まで）9月に集中講義 地域文化    | 非常勤講師 |

| 講 座                             |   |                |
|---------------------------------|---|----------------|
| 1993年4月～<br>2010年4月<br>2012年4月～ | 朝日カルチャーセンター（1994年3月まで）<br>白川文字学指導者養成講座 福井県教育委員会(2011年3月まで)<br>漢字教育士資格認定講座 漢字教育士資格認定講座。2012年度、立命館大学文学部、放送大学、福井県教育委員会、財団法人日本漢字能力検定協会。2013年3月より株Z会との連携事業としてインターネットによる漢字教育士資格。2016年より姫路市生涯学習大学校 | 講師<br>講師<br>講師 |
| 2016年4月～                        | 上本町文化サロン（『老子』を読む。松井真希子氏と。2017年4月～『莊子』を読む）   | 講師             |
| 2017年10月～<br>4月                 | 古代学講座京都文化博物館（毎月一回、全4回。10.11.1.2月、シルクロードがつなが復活再生信仰—ミイラ、仙人、パルメット文様から—）  | 講師             |

| 他大学・他機関との研究協力                   |  |                                       |
|---------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1983年9月<br>1996年4月              | 中国社会科学院哲学研究所在外研究（1984年7月まで）<br>東アジア地中海世界における文化圏の形成過程研究代表者、国際日本文化研究センター教授千田稔（2000年3月まで4年間）      | 研究員<br>班員                             |
| 1998年4月                         | 大学入試センター教科専門委員会委員（国語Ⅰ・Ⅱ）任命権者<br>大学入試センター所長 廣重力（2000年3月まで2年間）                                   | 委員                                    |
| 2000年3月<br>2004年4月              | 亀の古代学 国際日本文化研究センター教授宇野隆夫・教授千田稔<br>同志社大学ヒューマンセキュリティ研究センター（2008年3月まで4年間）                         | 班員<br>非常勤フェロー                         |
| 2006年4月～                        | 独立行政法人日本学術振興会  | 第1段審査書面審査委員                           |
| 2005年4月                         | 関西大学文部科学省学術フロンティア推進拠点、「東アジアにおける文化情報の発信と受容」アジア文化交流研究センター（2009年3月まで5年間）                          | 思想儀礼班 班員                              |
| 2007年4月～<br>2010年4月<br>2014年4月～ | 日本中国学会将来計画検討会<br>堺市都市緑化推進協議会専門委員（2011年3月まで2年間）<br>京都大学人文科学研究所プロジェクト 伝統医療文化の多角的検討（2017年3月まで3年間） | 委員<br>委員<br>班長                        |
| 2016年12月～                       | <i>Journal of Chinese Wrihting Systems</i> Associate Editor                                    | 副主編 中国教育部人文社会科学重点基地華東師範大学中国文字研究与応用中心  |
| 2016年12月～                       | 『中国文字研究』   | 編集委員 中国教育部人文社会科学重点基地華東師範大学中国文字研究与応用中心 |

| 学界および社会における活動 |                        |                              |
|---------------|------------------------|------------------------------|
| 1975年4月～      | 大阪大学中国学会               | 会員                           |
| 1978年4月～      | 阪神中国哲学談話会              | 会員                           |
| 1980年4月～      | 日本道教学会                 | 理事2000年～、会長<br>2014年～2018年3月 |
| 1980年4月～      | 日本中国学会                 | 会員将来計画検討委員<br>2008年～2016年    |
| 1988年8月～      | 日本秦漢史学会                | 会員                           |
| 1994年7月～      | 東方学会                   | 会員                           |
| 1995年4月～      | 中国出土資料学会               | 会員                           |
| 1997年12月～     | 形の文化会                  | 幹事2010年～、監<br>事2019年～        |
| 1999年4月～      | 殷周史研究会（2012年4月～漢字學研究会） | 会員                           |
| 2005年4月～      | ヒューマンセキュリティ学会          | 会員                           |
| 2008年4月～      | 美術史学会                  | 会員                           |
| 2009年4月～      | 照葉樹林文化研究会              | 世話人代表2019年まで                 |
| 2012年6月～      | 全日本鍼灸学会                | 会員                           |
| 2012年4月～      | 漢字學研究会                 | 代表2013年9月～                   |
| 2014年4月～      | 京都大学人文科学研究所伝統医療文化研究班   | 班長2014年4月～<br>2017年3月        |
| 2017年9月～      | 世界漢字学会                 | 副会長2018年10月～                 |
| 2017年12月～     | 日本漢字学会                 | 副会長2017年12月～                 |

| 賞 罰         |  |
|-------------|--|
| 2014年10月31日 | 「有意義な審査を付していただいた審査委員」（科研審査の優秀審査委員賞）「表彰状あなたは科学研究費助成事業（科研費）の第一段審査において有意義な審査意見を付し公正公平な審査に大きく貢献されました よってここに表彰します 平成26年10月31日独立行政法人 日本学術振興会理事長 安西祐一郎」 |
| 2015年11月15日 | 医譚賞 日本医史学会関西支部 『胎産書・雜禁方・天下至道談・合陰陽方・十問』東方書店、2015年3月   |

| 研究分野                               |
|------------------------------------|
| 中国哲学・道教・神仙思想・靈魂觀念・中国古代医学・漢字学・書道・篆刻 |

## 研究業績書

| 著書・学術論文の名称            | 単著<br>共著 | 発行・発表<br>の年月 | 発行所・発表雑誌・発表学会の名称（巻）（共著の場合は、共同執筆者名、担当部分のページ）  |
|-----------------------|----------|--------------|--|
| 1. 『中国古代養生思想の総合的研究』   | 共著       | 1988.1       | 平河出版社、pp.19-40、『山海経』の「山経」にみえる薬物と治療」を執筆。昭和61・62年度文部省科学研究費「総合研究（A）代表坂出祥伸」補助金にもとづく研究成果。 |
| 2. 鑑賞・中国の古典9『抱朴子・列仙伝』 | 共著       | 1988.7       | 角川書店 小川環樹・本田清監修尾崎正治、平木康平、大形徹著『列仙伝』部分を平木康平と共同執筆 pp.145～345、pp.410～430                 |
| 3. 『列仙伝』              | 共編       | 1989.4       | 平木康平・大形徹編、朋友書店、全82頁、頭注、校正  |
| 4. 『東瀛印社印集』           | 共編       | 1991.3       | 戴山青・野田美稔子・大形徹編、コスモプリント、全21頁  |
| 5. 『不老不死－仙人の誕生と神仙術－』  | 単著       | 1992.7       | 講談社現代新書、全254頁  |
| 6. 『呉昌碩印影』            | 共編       | 1992.9       | 戴山青・張瑞鵬・大形知无（雅号）編、北京広播学院出版社、全616頁  |

|                            |    |         |   |
|----------------------------|----|---------|---|
| 7. 『華瀛社友印集』                | 共編 | 1994.3  | 主編、戴山青・宋致中、副主編、大形徹、中國奧林匹克出版社出版、全138頁  |
| 8. 『中国思想の流れ(上)』            | 共著 | 1996.5  | 橋本高勝編、見洋書房、①儒道を融合しようとした思想家－王弼、pp.136-141、②茅山派道教の大成者にして本草学者－陶弘景、pp.245-253、を執筆   |
| 9. 『老荘思想を学ぶ人のために』          | 共著 | 1997.11 | 世界思想社 加地伸行編、共著者11名 澤田多喜男、浅野裕一、武田秀夫、湯浅邦弘、加地伸行、若槻俊秀、青木五郎、吉永慎二郎、塘耕次、山田利明、pp.88-105、「道教と老荘」を執筆  |
| 10. 『中国人と道教』               | 共著 | 1998.11 | 汲古書院 中村璋八編、共著者21名、中村璋八、柳希泰、劉枝萬、シベール、福井文雅、モニカ・エスポジト、三浦國雄、轟風喬、加藤千恵、中嶋隆蔵、坂出祥仲、麦谷邦夫、尾崎正治、鄭正浩、大塚雅司、黒住宗道、石川忠久、木村春子、高橋登志子、広常人世、pp.221-242、「中国人と道教－『東遊記』の八仙をめぐって－」を執筆                             |
| 11. 【講座 道教】第三巻『道教の生命観と身体論』 | 共編 | 2000.2  | 雄山閣出版 三浦國雄・堀池信夫・大形徹編、共著者13名 葛兆光、堀池信夫、林克、松木きか、加藤千恵、垣内智之、坂内栄夫、横手裕、秋岡英行、猪飼祥夫、沈恩明、三浦國雄 pp.62-78、「薬物から外丹へー水銀をめぐる古代の養生思想－」を執筆   |
| 12. 『魂のありか－中国古代の靈魂観』       | 単著 | 2000.7  | 角川書店、角川選書、全294頁   |
| 13. 『儒教の本』                 | 共著 | 2001.3  | Books Esotericaシリーズ第26号、学習研究社。第五章「儒教の神秘思想」、儒教シャーマニズム①「葬儀と招魂儀礼」 pp.120-123 ②「儒教と鬼神思想」 pp.124-125 「儒教と占術」 ③五行論と革命思想 pp.126-128 ④易経と太玄経 pp.129-131 ⑤風水と宗族制 pp.132-133 ⑥民間信仰の占術 pp.134-135を執筆 |
| 14. 『照葉樹林文化論の現代的展開』        | 共著 | 2001.8  | 北海道大学出版会共著者23名、石井実、岩切平、上野登、梅本信也、金子務、川窪広明、佐々木高明、徐英大、副島顕子、姚雷、八田洋章、平木康平、古川末喜、堀田満、森本幸裕、八木マリヨ、保田淑郎、山口聰、山口裕文、山本進一、湯浅浩史、湯本貴和、①「茅について－その呪術的効用をめぐって－」 pp.127-169②「ひょうたんと中国文化」 pp.187-212を執筆        |
| 15. 『宮澤正順博士古稀記念 東洋－比較文化論集』 | 共著 | 2004.1  | 青史出版、「博山炉と香－蓬萊山との関わりを通して－」を執筆（2002年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）神仙思想の成立に関する研究にもとづく研究成果）   |
| 16. 『道教的・密教的辟邪呪物の調査研究』     | 共編 | 2005.2  | B N P、大形徹、坂出祥仲・頼富本宏編、①『道蔵』にみえる呪符 ②呪符と併用される辟邪呪物を執筆、それ以外に呪符の写真の解説多数   |
| 17. 『アジア文化の思想と儀礼』          | 共著 | 2005.6  | 福井文雅博士古稀・退職記念論集刊行会、春秋社、「祀られる仙人－列仙図をめぐって－」を執筆（2004年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）神仙思想の成立に関する研究にもとづく研究成果）  |
| 18. 『中国学の十字路口』             | 共著 | 2005.3  | 加地伸行博士古稀記念論集刊行会、研文出版、pp.58-70、「『莊子』にみえる北と南と中央－鯤と渾沌の寓話をめぐって」を執筆（2005年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）神仙思想の成立に関する研究にもとづく研究成果）  |
| 19. 『東アジアの儀礼と宗教』           | 共著 | 2008.8  | 第3輯、吾妻重二・二階堂善弘編関西大学東西学術研究所アジア文化交流研究センター、pp.263-282、「凶札と魂・魄・鬼・神について」を執筆  |
| 20. 『死者と葬儀の行方』             | 共著 | 2009.7  | 諏訪春雄編、勉誠出版、「中国の魂のありか」を執筆  |
| 21. 『東アジアにおける文化情報の発信と受容』   | 共著 | 2010.2  | 雄松堂出版 松浦章編、pp.243-295、「和同開珎と中国」を執筆  |

|                                       |          |                  |  |
|---------------------------------------|----------|------------------|--|
| 22. 『道教美術の可能性』                        | 共著       | 2010.5           | 勉誠出版、pp.235-242、「古代オリエントと道教美術」を執筆  |
| 23. 『白川学入門講座』                         | 共著       | 2010.9           | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編、平凡社、pp.21-35、第二章「中国古代文字—甲骨文と金文と」を執筆   |
| 24. 『陰陽五行のサイエンス 思想編』                  | 共著       | 2011.2           | 京都大学人文科学研究所 武田時昌編、「陰陽と房中術」を執筆  |
| 25. 『白川静を読む時の辞典』                      | 共著       | 2013.10          | 編集委員、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編、平凡社、①顔回 ②孔子 ③黄帝 ④十日説話 ⑤儒家 ⑥神話 ⑦『山海経』 ⑧盗 ⑨トーテム ⑩巫 ⑪老子 ⑫『論語』 ⑬『孔子伝』 ⑭周公旦の項目執筆と編集                                 |
| 26. 『一衣帯水』天号                          | 共編       | 2014.7           | 日中言語出版社、張麟声・大形徹編、装丁  |
| 27. 『胎産書・雜禁方・天下至道談・合陰陽方・十問』           | 解説・訳注    | 2015.3           | 東方書店、出土資料訳注叢書、全424頁  |
| 28. 『一衣帯水』地号 28. 『道教の山岳信仰と地方神』        | 共編<br>共著 | 2015.7<br>2016.2 | 日中言語出版社、張麟声・大形徹編大形徹・樊士進・泉佑里「徐福について」を執筆、装丁。東方書店、土屋昌明・ゴースール編、大形徹・仇詩琪訳「南岳衡山と洞天福地—既是五岳又是洞天」を執筆、pp.191-209                                    |
| 29. 「中尾佐助 照葉樹林文化論」の展開 — 多角的視座からの位置づけ」 | 共著       | 2016.5           | 北海道大学出版会、山口裕文・金子務・大形徹・大野朋子編。「『莊子』にみえる植物—扶揺・冥雲・大椿・樸—」編、①  |
| 30. 『前方後円墳の出現と日本国家の起源』                | 共著       | 2016.11          | 角川書店、古代史シンポジウム2015-2016「発見・検証日本の古代」書籍版、[第3回配本] III「前方後円墳の出現と日本国家の起源」。対談「鬼道について」pp.215-217、論考「古代日本の祭祀—卑弥呼の鬼道と鏡に映し出された大陸との関係」pp.286-319を執筆 |
| 32. 『一衣帯水』亥号32. 監修                    | 共編<br>監修 | 2016.11          | 日中言語出版社、張麟声・大形徹編、装丁等   |
| 33. 大形徹 王財源 著『美容と東洋医学：人間美と健康美の原典』     |          | 2017.10          | 静風社、監修。「監修を終えて」を執筆   |
| 34. 『一衣帯水』黄号                          | 共編       | 2017.11          | 日中言語出版社、張麟声・大形徹編「江戸に拳法を伝えたと言われる陳元贊」を執筆、装丁等   |
| 35. 『年号と東アジア：改元の思想と文化』                | 共著       | 2019.4           | 水上雅晴編、高田宗平編集協力、八木書店古書出版部、八木書店（発売）、「年号と貨幣—漢興・大夏真興あたりを起点として—」pp.121-148を執筆を執筆  |

| 学術論文                          |    |        |   |
|-------------------------------|----|--------|---|
| 1. 漢初の高老思想                    | 単著 | 1980.1 | 『待兼山論叢』第13号、大阪大学文学会、pp.19-35                                      |
| 2. 『鶡冠子』—不朽の国家を幻想した隠者の書       | 単著 | 1982.2 | 『東方宗教』59号、日本道教学会、pp.43-65   |
| 3. 『鶡冠子』の成立                   | 単著 | 1983.3 | 『大阪府立大学紀要』人文・社会科学31巻、pp.11-23                                     |
| 4. 王弼の『論語積疑』—「老子」の思想で解釈した『論語』 | 単著 | 1986.3 | 『人文学論集』第4集、大阪府立大学人文学会、pp.1-15                                     |
| 5. 『列仙伝』にみえる仙薬について            | 単著 | 1988.3 | 『人文学論集』第6集、大阪府立大学人文学会、pp.1-19                                     |
| 6. 本草と方士の関係について               | 単著 | 1990.3 | 『人文学論集』第8集、大阪府立大学人文学会、pp.47-66 (1988年度文部省科学研究費「奨励研究」補助金にもとづく研究成果) |
| 7. 老子と房中術                     | 単著 | 1991.3 | 『人文学論集』第9集、大阪府立大学人文学会、pp.77-92 (1989.1990年度、科学協会奨励助成にもとづく研究成果)    |

|                                     |    |         |   |
|-------------------------------------|----|---------|---|
| 8. 『神農本草経』の神仙観                      | 単著 | 1991.5  | 『東方宗教』77号、日本道教学会、pp.22-49 (1988年度文部省科学研究費「奨励研究」補助金にもとづく研究成果)                                      |
| 9. 松喬考—赤松子と王子喬の伝説について               | 単著 | 1992.3  | 『大阪府立大学紀要』人文・社会科学40巻、pp.43-60   |
| 10. 『神農本草経』にみえる「鬼」について              | 単著 | 1993.3  | 『人文学論集』第11集、大阪府立大学人文学会、pp.75-93   |
| 11. 尸解仙と古代の葬制のかかわりについて              | 単著 | 1993.3  | 『中国研究集刊』景号、大阪大学中国哲学研究室編輯、pp.47-72 (1992-1993年度文部省科学研究費「一般研究 (C) 萌芽的研究」補助金にもとづく研究成果)               |
| 12. 『莊子』にみえる「化」と「真人」について            | 単著 | 1994.3  | 『人文学論集』第12集、大阪府立大学人文学会、pp.45-62 (1992-1993年度文部省科学研究費「一般研究 (C) 萌芽的研究」補助金にもとづく研究成果)                 |
| 13. 「氣」系の病因論—張家山漢簡を中心として            | 単著 | 1995.3  | 『人文学論集』第13集、大阪府立大学人文学会、pp.33-50 (1993-1994年度文部省科学研究費「一般研究 (B) 代表坂出祥伸」補助金にもとづく研究成果)                |
| 14. 「鬼」系の病因論—新出土資料を中心として            | 単著 | 1995.3  | 『大阪府立大学紀要』人文・社会科学43巻、pp.1-15 (1993-1994年度文部省科学研究費「一般研究 (B) 代表坂出祥伸」補助金にもとづく研究成果)                   |
| 15. 被髪考—髪型と靈魂の関連について                | 単著 | 1995.11 | 『東方宗教』86号、日本道教学会、pp.1-23  |
| 16. 本草書にみえる「虎」について                  | 単著 | 1996.1  | 『人文学論集』第14集、大阪府立大学人文学会、pp.67-84   |
| 17. 四神考—前漢・後漢期の資料を中心に               | 単著 | 1997.1  | 『人文学論集』第15集、大阪府立大学人文学会、pp.127-141   |
| 18. 張目吐舌考—魂との関わりを通して                | 単著 | 1997.3  | 『大阪府立大学紀要』人文・社会科学45巻、pp.15-28   |
| 19. 蛇と悪靈の関係について                     | 単著 | 1997.3  | 『中国出土資料研究』創刊号、中国出土資料研究会、pp.47-64  |
| 20. 疫鬼について—顯頊氏の三子を中心として             | 単著 | 1998.1  | 『人文学論集』第16集、大阪府立大学人文学会、pp.71-84   |
| 21. 神仙思想研究小史—神仙思想はどのように研究されてきたか (一) | 単著 | 2000.12 | 『中国研究集刊』余 (二十七) 号、大阪大学中国哲学研究室、pp.1-23   |
| 22. 道教における神仙思想の位置づけ—尸解仙の事例を手がかりとして— | 単著 | 2000.12 | 『道教と東アジア文化』、国際シンポジウム13集、国際日本文化研究センター、pp.65-80   |
| 23. 神仙思想研究小史—神仙思想はどのように研究されてきたか (二) | 単著 | 2001.6  | 『中国研究集刊』成 (二十八) 号、大阪大学中国哲学研究室編輯、pp.46-70  |
| 24. 道教について—現在にまで生き続ける宗教             | 単著 | 2002.1  | 季刊『明日香風』第80号、飛鳥保存財団、pp.2-7  |
| 25. 仙人と祠—『列仙傳』の事例を中心として             | 単著 | 2002.2  | 『人文学論集』第20集、大阪府立大学人文学会、pp.135-157   |
| 26. 死についての文字学的考察—魂と骨の観点から           | 単著 | 2003.2  | 『人文学論集』第21集、大阪府立大学人文学会、pp.51-66   |
| 27. 『道教的密教的辟邪呪物の調査・研究』研究成果報告書       | 共著 | 2003.3  | 坂出祥伸代表、2000-2002年度科学研究費補助金基盤研究 (C) ①台南・東港鎮調査報告 ②福建省・香港・澳門調査報告 ③金門島の風獅爺—石と獅子による辟邪 ④シンガポール華人の宗教、を執筆 |
| 28. 「仙」と「櫻」—神仙思想の形成と文字の変化           | 単著 | 2003.3  | 『人間文化学研究集録』第12号、大阪府立大学人間文化研究科、pp.1-30   |
| 29. 『列仙傳』の仙人—黃帝・呂尚・涓子               | 単著 | 2004.3  | 『人文学論集』第22集、大阪府立大学人文学会、pp.1-16  |



|  |    |         |  |
|--|----|---------|--|
| 30. 門口にみる安全と安心                                 | 単著 | 2005.3  | 『同志社大学ヒューマンセキュリティー研究センター年報』 第二号、pp.334-339   |
| 31. 魂魄観念と鍼灸                                    | 単著 | 2006.1  | 『日本鍼灸史学会論文集』 第一集、日本鍼灸史学会   |
| 32. 中国医学は「死」をどのようにとらえてきたか—(続) 魂魄観念と鍼灸          | 単著 | 2006.1  | 『日本鍼灸史学会論文集』 第一集、日本鍼灸史学会   |
| 33. 厚葬と薄葬—神仙思想の観点から                            | 単著 | 2006.3  | 『人文学論集』 第24集、大阪府立大学人文学会、pp.41-51 (2005年度科学研究費補助金(基盤研究)(C)(2) 神仙思想の成立に関する研究にもとづく研究成果)                     |
| 34. 房中術の精気と鍼灸の精気                               | 単著 | 2007.1  | 『日本鍼灸史学会論文集』 第2集、第13回日本鍼灸史学会大会講演、特別講演、日本鍼灸史学会、2005年11月27日 原稿提出済 未刊                                       |
| 35. 『儀禮』士喪禮の「復」をめぐって—「復」は蘇生を願う儀式なのか            | 単著 | 2007.3  | 紀要「アジア文化交流研究」第2号、関西大学アジア文化交流センター   |
| 36. 中国医学にみえる「安心」                               | 単著 | 2007.3  | 『同志社大学ヒューマンセキュリティー研究センター年報』 第4号  |
| 37. 仙穴考—『列仙傳』の卮書をめぐって                          | 単著 | 2007.3  | 『人文学論集』 第25集、大阪府立大学人文学会、pp.135-157   |
| 38. 《老子》里的“精”与“房中術”—関于広成子・大成・容成                | 単著 | 2007.1  | 国際道徳経論壇論文集「和諧世界 以道相通」宗教文化出版社、pp.932-936  |
| 39. 中国の死生観に外国の図像が影響を与えた可能性について—馬王堆帛画を例として      | 単著 | 2007.11 | 東方宗教第110号、日本道教学会、pp.1-36 (2006年度科学研究費補助金(基盤研究)(C)(2) 中国古代における太陽とロータスと鳥の図像的イメージと神仙思想にもとづく研究成果)            |
| 40. 辟邪と安心—犀の角から狛犬の角まで                          | 単著 | 2008.3  | 『同志社大学ヒューマンセキュリティー研究センター年報』 第5号  |
| 41. 埋葬儀礼と貝貨                                    | 単著 | 2008.3  | 『アジア文化交流研究』 3号 関西大学アジア文化交流研究センター   |
| 42. 『道德經』にみえる「精」と房中術—広成子・大成・容成等「成」のつく人物との関わりから | 単著 | 2008.3  | 『人文学論集』 第26集、大阪府立大学人文学会、pp.55-67、「《老子》里的“精”与“房中術”—関于広成子・大成・容成」を日本語訳して「はじめに」その他を加筆修正したもの                  |
| 43. 符と書道—台湾東港鎮の符を例として                          | 単著 | 2008.7  | 『書法漢学研究』 第3号、アートライフ社、pp.1-5  |
| 44. 鏡與太陽信仰                                     | 単著 | 2008.10 | 国際学術研討会—東アジア文化の発生・変遷・交流—予稿集、台湾、致遠学院 (2006年度科学研究費補助金(基盤研究)(C)(2) 中国古代における太陽とロータスと鳥の図像的イメージと神仙思想にもとづく研究成果) |
| 45. 救日祭祀と十日神話                                  | 単著 | 2009.3  | 『アジア文化交流研究』 第4号、関西大学アジア文化交流研究センター、pp.1-20、(同上)   |
| 46. 馬王堆の胎産書・南方禹蔵・人字図                           | 単著 | 2009.3  | 『人文学論集』 第27集、大阪府立大学人文学会、pp.1-33  |
| 47. 鏡と太陽信仰—東アジアの鏡の図案より                         | 単著 | 2009.7  | 『中国研究集刊』 46、大阪大学中国哲学研究室、pp.1-30 (2006年度科学研究費補助金(基盤研究)(C)(2) 中国古代における太陽とロータスと鳥の図像的イメージと神仙思想にもとづく研究成果)     |
| 48. 急須の注ぎ口がゾウの鼻にもとづくかもしれないことについて               | 単著 | 2010.3  | 『形の文化研究』 4号、形の文化会、pp.67-74   |
| 49. 魂帛について                                     | 単著 | 2010.3  | 『アジア文化交流研究』 第5号、関西大学アジア文化交流研究センター、pp.1-20  |

|  |    |            |  |
|--|----|------------|--|
| 50. 馬王堆房中書の書誌学的考察—十問・合陰陽・天下至道談を中心として     | 単著 | 2010.3     | 『人文学論集』第28集、大阪府立大学人文学会、pp.23-44  |
| 51. 『莊子』逍遙遊篇冒頭の語と馬王堆帛画—魚・鳥・太陽・扶桑をめぐる     | 単著 | 2010.12    | 『郵政考古紀要』50号、大阪郵政考古学会、pp.33-50  |
| 52. 雲気文と鹿の角                              | 単著 | 2011.2     | 『形の文化研究』6号、形の文化会、pp.45-58  |
| 53. 給力—人民日報の一面の見出しに使われたネット用語             | 共著 | 2011.3     | 大形徹・白雲飛・孔令竹・横大路綾子と共著『人文学論集』第28集、大阪府立大学人文学会、pp.23-44  |
| 54. 寧琴成の書画篆刻                             | 単著 | 2012.1     | 『書法漢学研究』10、アートライフ、pp.15-27   |
| 55. 洞天における山と洞穴—委羽山を例として                  | 単著 | 2012.2     | 『洞天福地研究』1号、好文出版、pp.10-30（基盤研究（B）土屋昌明 中国道教における山岳信仰と宗教施設のネットワークに関する総合的調査と研究にもとづく研究成果）  |
| 56. 九州西部における隠れキリシタン後裔の花文化—墓標の植物文様を中心として  | 単著 | 2012.3.31  | 『人文学論集』第30集、pp.63-89、大阪府立大学人文学会（サントリー文化財団研究助成、人文学、社会科学に関する研究助成、代表東京農業大学 山口裕文 研究課題名「照葉樹林文化要素としての癒し植物に関わる文化多様性をめぐる研究」の助成による調査） |
| 57. 華山と洞天—大上方を中心として                      | 単著 | 2012.2     | 『洞天福地研究』2号、好文出版、pp.21-41（基盤研究（B）土屋昌明 中国道教における山岳信仰と宗教施設のネットワークに関する総合的調査と研究にもとづく研究成果）  |
| 58. 増補仙穴考—『列仙伝』せん子の事例を中心として              | 単著 | 2012.3     | 『洞天福地研究』3号、好文出版、pp.66-82、前掲「仙穴考」に加筆修正し、嵩山の写真を加えたもの（基盤研究（B）土屋昌明 中国道教における山岳信仰と宗教施設のネットワークに関する総合的調査と研究にもとづく研究成果）                |
| 59. 「漢字」という熟語は、いつ作られたのか                  | 共著 | 2013.3     | 大形徹、陳建明、横大路綾子『漢字学研究』第1号、立命館大学白川静記念文字文化研究所、pp.3-28  |
| 60. 鹿の角がもつ再生観念について—スキタイ、戦国楚墓、馬王堆漢墓をつなぐもの | 単著 | 2013.3     | 『人文学論集』第31集、大阪府立大学人文学会、pp.59-89（2012年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）中国古代の文様、雲気文などがもつ復活再生観念の研究にもとづく研究成果）                                |
| 61. 鍼灸美容にみえる《美》意識についての考察—中国哲学を基盤とした《美》   | 共著 | 2013.5     | 王財源、大形徹、『全日本鍼灸学会雑誌』、Vol.63、No.2、pp.123-131   |
| 62. 《論語》的政治理念及其実現方法                      | 単著 | 2013.11    | 中文翻訳楊冰『国際儒学論壇・2013 儒家思想与理想之治論文集（下）』中国人民大学、pp.108-116   |
| 63. 戦国楚帛画の舟にみる復活再生観念の考察                  | 単著 | 2014.3     | 『人文学論集』第32集、大阪府立大学人文学会、pp.23-43（2013年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）中国古代における龍と舟と扶桑にみる復活再生観念の研究にもとづく研究成果）                               |
| 64. 南岳と洞天福地—既是五岳又是洞天                     | 単著 | 2014.3.12  | 中文翻訳仇詩琪『第1回日本・フランス中国宗教研究者会議予稿集』、専修大学・洞天福地研究会   |
| 65. 「漢字」という熟語はいつ作られたのか（續編）               | 共著 | 2014.7     | 山田崇仁、大形徹、横大路綾子、陳建明『漢字学研究』2号、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所  |
| 66. 列仙伝的道德仙人の萌芽                          | 単著 | 2014.11.26 | 中文翻訳楊冰『国際道教論壇論文集上』中国道教協会、pp.331-340  |
| 67. 龍角考—その一、キリンの角                        | 単著 | 2015.3     | 『人文学論集』第33集、大阪府立大学人文学会、pp.13-44（2014年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）中国古代における龍と舟と扶桑にみる復活再生観念の研究にもとづく研究成果）                               |
| 68. 『列仙傳』にみる道德的仙人の萌芽                     | 単著 | 2015.3     | 『人文学論集』第33集、大阪府立大学人文学会、pp.29-38、前掲「列仙伝的道德仙人の萌芽」の日本語版。  |

|  |    |              |   |
|--|----|--------------|---|
| 69. 『論語』にみる政治理念とその実現の方法—有若の語を中心として         | 単著 | 2015.6       | 『中国研究集刊』大阪大学中国哲学研究室、pp.1-19(前掲『論語』的政治理念及其実現方法の日本語原文に加筆修正したもの)   |
| 70. 〈胎産書〉之“始”                              | 単著 | 2015.6.27/28 | 《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會 會議手冊、湖南省博物館、復旦大學出土文獻與古文字研究中心及中華書局聯合主辦、pp.46-53   |
| 71. 字説「胎」と「始」                              | 単著 | 2015.8       | 『漢字學研究』第3号、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、pp.105-123   |
| 72. 龍角考—その二、鹿の角                            | 単著 | 2016.3       | 『人文学論集』第34集、大阪府立大学人文学会、pp.75-92   |
| 73. 中国按摩推拿医学の歴史                            | 共著 | 2016.3       | 李強、大形徹『人文学論集』第34集、大阪府立大学人文学会、pp.93-133  |
| 74. 中国の風水思想と洞天福地                           | 単著 | 2016.3       | 東洋大学『エコ・フィロンフィ』学際研究イニシアティブ(TIEPh) 大地の思想—聖地・風水・里山、東洋大学、風水洞天福地、pp.27-39   |
| 75. 『胎産書』与徐之才「逐月養胎方」                       | 共著 | 2016.5       | 大形徹、池内早紀子、董涛、上海中医药大学60周年慶、出土医学文献研究國際研討會論文集、中医文献研究所、基礎医学院、國際交流處、上海中醫藥博物館、pp.10-30  |
| 76. 《千金翼方・禁經》与日本奈良市出土二條大路呪符木簡              | 共著 | 2016.7       | 大形徹、山里純一、大野朋子、佐々木聡、董涛、池内早紀子、中国人民大学-美国羅格斯大学、首届國際道教文化前沿論壇論文集、中国・天岳幕阜山、pp.122-131  |
| 77. 对徐福尋找的仙藥（靈芝）和仙人的探究—以圖像資料為線索            | 単著 | 2016.10      | 樊士進訳、大陸橋、2016徐福文化与「一带一路」城市文化產業國際論壇（論文集）、当日採み込み資料、pp.1-10  |
| 78. 「東」と扶桑が結びつけられる理由                       | 共著 | 2016.12      | 『漢字學研究』第4号、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、pp.155-176   |
| 79. 齊雲山真仙洞府十大洞天・三十六所靖慮洞天・海中五嶽洞天・七十二福地      | 単著 | 2017.3       | 『洞天福地研究』5 好文出版。   |
| 80. 關於“有朋自遠方來”原為“友朋自遠方來”之可能性               | 単著 | 2017.9.16    | 第5回世界漢字学会 予稿集、三峽大学  |
| 81. 「年号と貨幣—中国貨幣、漢興・大夏真興あたりを起点として—」         | 単著 | 2017.10.21   | 大形徹「年号と貨幣—中国貨幣、漢興・大夏真興あたりを起点として—」2017年度國際シンポジウム、年号と東アジアの思想と文化、予稿集、国立民俗歴史博物館   |
| 82. 道教や民間信仰における死生観                         | 単著 | 2018.1       | 第二部シンポジウム「中国の古典に学ぶ生と死」道教や民間信仰における死生観、懷德堂86号、pp.27-52  |
| 83. 仙人の飲食                                  | 単著 | 2018.3       | 『人文学論集』第36集、大阪府立大学人文学会、pp.1-41  |
| 84. 關於“有朋自遠方來”原為“友朋自遠方來”之可能性               | 単著 | 2018.6       | 華東師範大学中国文字研究与应用中心《中国文字》編集部・Journal of Chinese Writing Systems 中国文字・volume 2 issue 2・pp.133-142、前掲、第5回世界漢字学会、予稿集の原稿に加筆修正したもの |
| 85. 石垣島・タイ北部・ネパール・中国等の人々の手首にヒモを巻くことについての考察 | 共著 | 2017.3       | 大形徹、山里純一、佐々木聡、大野朋子、『形の文化研究』Vol.11、形の文化会、pp.3-15   |
| 86. 《千金翼方・禁經》与日本奈良二条大路呪符木簡                 | 共著 | 2018.9       | 大形徹、山里純一、佐々木聡、池内早紀子、大野朋子、董涛、『道教学刊』、社会科学文献出版社、p133-148、2018年第一輯、総第1期 前掲、中国人民大学、羅格斯大学、國際道教研討會の成果                              |
| 87. 工具書中の熊貓                                | 共著 | 2018.10.6    | 主題發言、大形徹・董涛 リヒ・アレクサンダー大学エアランゲン=ニュルンベルク孔子学院、世界漢字学会、予稿集   |

|                                   |    |           |   |
|-----------------------------------|----|-----------|---|
| 88. 口耳の口                          | 単著 | 2018.10   | 『漢字學研究』第6号、字説、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、pp.93-120   |
| 89. 洞天福地看《『列仙伝』の仙人と山              | 単著 | 2019.6.23 | 中文翻譯董濤『第一届 洞天福地 研究与保護國際學術檢討会 摘要及論文 初稿』福建省寧德市蕉城区人民政府・福建省寧德市文化和旅游局・清華大学國家遺產中心・清華大学建築設計研究院 |
| 90. 針灸吉田流《蟲書》の成書過程—從圖示的“虫”圖的比較入手— | 共著 | 2019.8    | 池内早紀子・大形徹・翻譯董濤、“从中古到近代写本文化與跨文化交流”國際學術研討會論文集、北京大学、北京大学東方文学研究中心                           |
| 91. 日本人小名中使用的「丸」字與辟邪觀念            | 単著 | 2019.9    | 中国社会科学論壇（2019・宗教学）“宗教学研究的傳承與創新”國際學術會議 論文集 中国社会科学院学部主席团、中国社会科学院宗教研究所・中国宗教学会              |
| 92. 醫について                         | 単著 | 2019.10   | 『漢字學研究』第7号、字説、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、pp.91-103   |

| 翻譯・訳注                |    |         |  |
|----------------------|----|---------|--|
| 1. 齐白石の篆刻芸術における革新意識  | 翻譯 | 1991.3  | 戴山青著、『人文学論集』第9集、大阪府立大学人文学会、pp.147-151  |
| 2. 中国の現代書家2. 張正宇     | 翻譯 | 1991.5  | 戴山青著、『墨』芸術新聞社、pp.130-137   |
| 3. 中国の現代書家3. 鄧散木上    | 翻譯 | 1991.7  | 戴山青著、『墨』芸術新聞社、pp.130-131   |
| 4. 中国八十年代の新書道—現代派書道— | 翻譯 | 1991.7  | 戴山青著、『書の美』所収、書の美研究会、pp.23-29   |
| 5. 中国の現代書家3. 鄧散木下    | 翻譯 | 1991.9  | 戴山青著、『墨』芸術新聞社、pp.142-143   |
| 6. 中国の現代書家4. 郭風恵     | 翻譯 | 1991.11 | 戴山青著、『墨』芸術新聞社、pp.130-131   |
| 7. 中国の現代書家5. 劉冰庵     | 翻譯 | 1992.1  | 戴山青著、『墨』芸術新聞社、pp.130-131   |
| 8. 中国の現代書家6. 鄭誦先     | 翻譯 | 1992.3  | 戴山青著、『墨』芸術新聞社、pp.154-155   |
| 9. 『道教と中国文化』         | 共訳 | 1993.6  | 葛兆光著、東方書店、坂出祥伸・大形徹・山本敏雄・戸崎哲彦訳、全468頁中、序・上編部分1-164頁を担当                                   |
| 10. 『宋書』楽志訳注稿(一)     | 訳注 | 2003.3  | 『未名』第21号、中文研究会、135-183頁中、163-174頁を執筆。釜谷武志・林香奈・佐藤大志と分担（基盤研究(B) 釜谷武志六朝の楽府と楽府詩 にもとづく研究成果） |
| 11. 『隋書』音楽志訳注稿(三)    | 訳注 | 2009.3  | 『中国学研究論集』22、pp.6-48、川合安・大形徹・柳川順子・佐竹保子と分担（基盤研究(B) 佐藤大志 南北朝楽府の多角的研究 にもとづく研究成果）           |
| 12. 『隋書』音楽志訳注』       | 共訳 | 2016.2  | 六朝楽府の会編著、佐藤大志、釜谷武志、大形徹、山寺三知・林香奈・狩野雄・柳川順子・佐竹保子・川合安・長谷部剛和泉書院、全551頁                       |

| 参考資料           |    |        |   |
|----------------|----|--------|---|
| 1. 『続書断』の草稿の作成 |    | 1981.4 | 訳注『続書断』の草稿の作成『中国書論大系』第4巻、pp.430-440、461-467、495-509、533-539。日原利国著、二玄社 |
| 2. 魏晋のジュリー     | 随筆 | 1983.4 | 『中国古典雑話』月刊「わかさ」4 vol.40 タングラムプランニング                                   |

|                                |       |         |  |
|--------------------------------|-------|---------|--|
| 3. 十で神童、十五で才子…                 | 同上    | 1983.5  | 同 5 vol.41   |
| 4. もしもトイレに糞があったら               | 同上    | 1983.6  | 同 6 vol.42   |
| 5. 酒のみの歌                       | 同上    | 1983.7  | 同 7 vol.43   |
| 6. いるか いないか いないか お化け           | 同上    | 1983.8  | 同 8 vol.44   |
| 7. お化けを食った話                    | 同上    | 1983.9  | 同 9 vol.45   |
| 8. 『中国思想辞典』                    | 辞書項目  | 1984.4  | 日原利国編、研文出版、①王弼 ②駱冠子 ③三洞四輔十二類 ④尸解 ⑤蕭何 ⑥太上老君 ⑦天皇大帝、の項目執筆   |
| 9. 科研報告書、坂出祥伸編『中国古代養生思想の総合的研究』 | 科研報告書 | 1987.3  | pp.24-29 『山海経』にみえる医薬について』を執筆。科学研究費補助金にもとづく研究成果報告書  |
| 10. 「気」の一展開としての中国占法            | 書評    | 1992.1  | 『東方』130号、東方書店 pp.18-19、坂出祥伸著『中国古代の占法』（研文出版）の書評   |
| 11. 中野美代子『孫悟空はサルかな』            | 書評    | 1992.8  | 『公明新聞』1992年8月31日、中野美代子『孫悟空はサルかな』（日本文芸社）の書評   |
| 12. 『道教』の大事典                   | 辞書項目  | 1994.3  | pp.190-196、「本草と道教」p.240-242、「服薬」を執筆、新人物往来社、※平成6年7月に索引を付して改版  |
| 13. 『道教辞典』                     | 辞書項目  | 1994.3  | 「巫」・「女媧」を執筆、平河出版社  |
| 14. 『仙の意味の再検討と道教における仙の位置づけ』    | 科研報告書 | 1994.4  | 科研報告書、全66頁、(1992・1993年度科学研究費補助金(一般研究C)にもとづく研究成果報告書)  |
| 15. 神仙思想―「不老不死」皇帝たちの願い         | 単著    | 1994.8  | 『幻術三国志』、pp.258-269、新人物往来社  |
| 16. 『新出土資料による中国古代医学の研究』        | 科研報告書 | 1995.3  | 『「気」系の病因論―張家山漢簡を中心として―』を執筆、pp.16-25、全39頁。(1993・1994年度科学研究費補助金(一般研究B、研究代表者坂出祥伸)にもとづく研究成果報告書)。(『人文学論集』第13集に収載) |
| 17. 始皇帝の生への妄執―永遠なる肉体をこの手に―     | 単著    | 1995.9  | 学研『歴史群像』10月号、pp.57-59  |
| 18. 丹毒で命を落とした人びと               | 単著    | 1995.11 | 大修館『しにか』Vol.6/No.11 pp.50-57   |
| 19. 中国の養生術                     | 単著    | 1995.12 | ポーラ文化研究所『i s』69号、pp.40-43  |
| 20. 松喬考―関于赤松子と王子喬の伝説―          | 単著    | 1996.7  | 『復旦学報(社会科学版)』復旦大学、pp.97-105 同名の論文の中国語訳。洪偉民訳・高金校・責任編輯、張兵  |
| 21. 二条大路木簡の呪文                  | 単著    | 1996.11 | 『木簡研究』18号、pp.246、奈良国立文化財研究所、木簡学会   |
| 22. 松喬考―赤松子と王子喬の伝説について         | 単著    | 1997.2  | 『古代学研究』第137号、pp.18-30、(平成9年2月同名の論文の転載。第2章『韓非子』にみえる赤松を加筆)   |
| 23. 二つの病因論―鬼と気をめぐって            | 単著    | 1997.3  | 『日本経絡学会誌』第23巻第3号、pp.2-24、第24回日本経絡学会学術大会(関西大会)の特別講演   |
| 24. 幸運を呼び込む吉祥図絵と文字に託された願い      | 単著    | 1998.1  | 『呪符』pp.150-157、新人物往来社、別冊歴史読本   |
| 25. 鬼瓦一屋根に鎮座し悪鬼を祓う神            | 単著    | 1998.1  | 『呪符』pp.208-213、新人物往来社、別冊歴史読本   |
| 26. 与那国のチガヤ                    | 単著    | 1998.2  | 『とうんばら―通信』第8号、pp.6-7、(京大大学人文科学研究 所 横山研究室、文部省科学研究費補助金基盤(A)「久米島における東アジア諸文化の媒介事象に関する総合研究」)                      |

|                                   |      |         |   |
|-----------------------------------|------|---------|---|
| 27. 被髪について—髪型と靈魂との関連をさぐる(上)       | 単著   | 1998.2  | 『しにか』大修館、Vol.9/No.2 pp.80-85  |
| 28. 被髪について—髪型と靈魂との関連をさぐる(下)       | 単著   | 1998.3  | 『しにか』大修館、Vol.9/No.3 pp.98-103   |
| 29. 『哲学思想事典』                      | 辞書項目 | 1998.3  | 岩波書店 ①神仙思想 ②『神仙伝』③仙境思想 ④占術 ⑤方士 ⑥方術 ⑦抱朴子   |
| 30. 不老不死の仙薬とはなにか                  | 単著   | 1998.5  | 『不老不死の超古代史』、別冊歴史読本、新人物往来社、pp.110-127  |
| 31. 研究ノート 茅について—その呪術的効用をめぐって      | 単著   | 1998.9  | 『日本研究』第18集、国際日本文化研究センター（日生財団からの研究補助）、pp.151-174   |
| 32. 小曾戸洋『中国古典医学と日本』               | 書評   | 1998.11 | 『東方宗教』第92号、日本道教学会、pp.54-62  |
| 33. 小林正美『中国の道教』                   | 書評   | 1999.1  | 『しにか』Vol.10/No.1、大修館、pp.114-115   |
| 34. 茅について—その呪術的効用をめぐって—           | 単著   | 1999.12 | 日本生命財団助成研究報告書「照葉樹林における伝統的農村の持つ環境保全機能—中尾佐助資料を活用して—」、pp.8-19 (図版を付して前掲『日本研究』第18集に掲載)  |
| 35. 始皇帝の不死幻想                      | 単著   | 2000.2  | 『しにか』大修館、Vol.11/No.2 pp.54-59   |
| 36. 魂は脳にある                        | 単著   | 2000.7  | 『本の旅人』七月号、角川書店、pp.44-45   |
| 37. 楽土を求めた徐福の旅                    | 単著   | 2001.1  | 『まほら』No.26、旅の文化研究所、芳林社、pp.16-17   |
| 38. 『亀の古代学』                       | コメント | 2001.3  | 千田稔・宇野隆夫編『亀の古代学』東方出版（共著者16名、千田稔、宇野隆夫、内田至、西光慎治、伊達宗泰、三宅久雄、亀田修一、設楽博己、サイモン・ケーナー、難波洋三、菅谷文則、和田萃、橋口尚武、矢野健一、谷一尚。国際日本文化研究センターにおいて平成12年3月に行われたシンポジウムの報告書。大形徹は「中国の亀跡をめぐって (pp.76-90)」・「中国の亀トをめぐって (pp.179-193)」という題で亀田修一「朝鮮半島の石造物と亀」、橋口尚武氏「亀トについて」の発表にコメントしたものの書き起こし |
| 39. 老荘思想から道教へ                     | 単著   | 2001.7  | 『週刊朝日百科』世界の文学102、名作への招待、中国孔子、老子、孟子、荘子ほか、朝日新聞社、pp.56-57  |
| 40. 道教について—現在にまで生き続ける宗教           | 単著   | 2002.1  | 季刊『明日香風』第80号、飛鳥保存財団、pp.2-7  |
| 41. 第一章 航海と船 二 龍の船と鳥の船 龍舟 鶴首 葬法と船 |      | 2002.4  | 千田稔編著『海の古代史—東アジア地中海考—』、角川全書、pp.30-34（問題提起者としての大形徹の論考を宇野隆夫がまとめおしたもの）   |
| 42. なぜ中国ではコウモリは“おめでたい”のか？         | 単著   | 2002.9  | 自然保護469号、『蝙蝠』自然科学協会9月号、(財)日本自然保護協会、pp.30  |
| 43. 『道教的密教的辟邪呪物の調査・研究』            | 科研報告 | 2003.4  | くすのき印刷、①台南・東港鎮調査報告、②福建省・香港・澳門調査報告、③金門島の風獅爺—石と獅子による辟邪—④シンガポール華人の宗教、⑤あとがき、を執筆。(2000・2001・2002年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (1) 坂出祥伸代表、研究成果報告書)  |
| 44. 図書の中のバンダ                      | 単著   | 2003.10 | 『アウリオン』第19号、大阪府立大学総合情報センター51、pp.8   |
| 45. 魂魄観念と鍼灸—一人神をめぐって              | 単著   | 2003.11 | 第11回日本鍼灸臨床文献学会学術大会講演要旨、特別講演、鍼灸臨床文献学会、pp.7-9   |
| 46. 『歴史学事典』                       | 辞書項目 | 2004.2  | 尾形勇 [ほか] 編「宗教と学問」第11巻、弘文堂、「古い」を執筆。  |

|   |         |         |  |
|---|---------|---------|--|
| 47. 山里純一『呪符の文化史』習俗に見る沖縄の精神文化                            | 書評      | 2005.6  | 『東方宗教』第105号、pp.74-78   |
| 48. 神仙思想の成立について   | 科研報告    | 2006.3  | 科研報告書 平成14・15・16・17年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果報告書   |
| 49. 鬼とは何か   | 単著      | 2006.2  | 御堂さん編集部『御堂さん』2006年2月号  |
| 50. 中国人学生の受講する中国語初級クラスの授業方法について                         | 事例研究、共著 | 2007.3  | 大形徹、王秉玉『人文学論集』第25集、pp.89-105   |
| 51. フォーラム 東北アジアにおける安心・安全—中国を起点として                       | 共著      | 2007.3  | 『同志社大学ヒューマンセキュリティ研究センター年報』第四号。2006年9月30日、同志社大学ヒューマン・セキュリティ研究センター主催のシンポジウム、<宗教・医学から>   竹内弘行（名古屋大教授）・長野仁（鍼灸院鴻仁堂院長）・大形徹（大阪府立大教授）を書き起こしたもの |
| 52. 国際道徳経論壇 International Forum on the Daodejing に参加して  | 単著      | 2008.3  | 『人文学論集』第26集、pp.163-168、大阪府立大学人文学会  |
| 53. 中国の鏡  | 辞書項目    | 2008.12 | 宮崎興二編『日本文化のかたち百科』丸善、pp.474-481   |
| 54. 書評『懷徳堂研究』   | 書評      | 2009.1  | 湯浅邦弘編『懷徳堂研究』汲古書院、全448頁、2007.11の書評。『懷徳』第77号、懷徳堂記念会、pp.58-62、  |
| 55. 神仙思想と不老不死   | 単著      | 2009.8  | 『スタービープル・フォー・アセンション』Vol.30、ナチュラルスピリット、「不老不死の可能性を探る。—スピリチュアルとの相関性—」   |
| 56. 道教と老荘   | 単著      | 2009.7  | 齋藤龍一構成・編集『道教の美術 = Taoism art』読売新聞大阪本社、大阪市立美術館  |
| 57. 道教と共生思想   | 書評      | 2010.11 | 『東方宗教』116号。田中文雄、テリー・F.クリーマン『道教と共生思想—第3回日米道教研究会議論文集』鎌谷書店、2009.10の書評   |
| 58. 生命力をもつ文様の伝播—エジプトのパルメツト、中央アジアの鹿角文様と中国の龍、雲気文との関係について— | 講演録     | 2011.6  | 『論叢 国語教育学』復刊第2号（通巻7号）、広島大学 国語文化教育学講座 pp.96-110、第4回国語教育カフェ講演録（2010.12.18）（2012年度科学研究費補助金（基盤研究）（C）（2）中国古代の文様、雲気文などがもつ復活再生観念の研究にもとづく研究成果） |
| 59. 『日本のかたちをよむ事典』                                       | 辞書項目    | 2011.12 | 金子務他編、工作舎、形の文化会、pp.294-296、陰陽  |
| 60. 第二洞天委羽山探訪記  | 単著      | 2012.2  | 洞天福地研究創刊号 勉誠出版   |
| 61. 中国の悪靈使い-収驚  | 単著      | 2012.10 | B.N.P.、『地球人』17号 シャーマニズムと癒し pp.12-17  |
| 62. 古文字学研究文献提要『アジアと漢字文化』                                | 提要      | 2013.3  | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編『漢字学研究』1号、pp.136-137宮本徹・大西克也編『アジアと漢字文化』放送大学教育振興会、2009.3の提要   |
| 63. 能にみえる霊獣 その（1）龍                                      | 単著      | 2013.3  | 金春安明監修『金春月報』第34巻・第3号 pp.10-13  |
| 64. 能にみえる霊獣 その（2）虎                                      | 単著      | 2013.4  | 金春安明監修『金春月報』第34巻・第4号 pp.10-12  |
| 65. 能にみえる霊獣 その（3）狸々                                     | 単著      | 2013.5  | 金春安明監修『金春月報』第34巻・第5号 pp.10-12  |
| 66. 能にみえる霊獣 その（4）野干                                     | 単著      | 2013.6  | 金春安明監修『金春月報』第34巻・第6号 pp.10-12  |
| 67. 能にみえる霊獣 その（5）鶴亀                                     | 単著      | 2013.7  | 金春安明監修『金春月報』第34巻・第7号 pp.10-12  |

|   |    |                        |  |
|---|----|------------------------|--|
| 68. 漢字の歴史① 漢字の誕生と集積—誕生から『説文解字』まで            | 単著 | 2013.4                 | 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編、漢字学総論Ⅰ第13回 ビデオおよびインターネット配信教科書6000文字 |
| 69. 漢字の歴史② 漢字の安定—石経・玉篇・康熙字典など               | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅰ第14回  |
| 70. 漢字の歴史③ 甲骨文の発見                           | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅰ第16回  |
| 71. 漢字の歴史④ 日本における漢字の受容と普及との略史(古辞書の紹介など)     | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅰ第17回  |
| 72. 漢字とその他の古代文字 漢字、ヒエログリフ、楔形文字など            | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅱ第12回  |
| 73. 書体の変遷① 字体・書体とその変遷の略史(金文・篆書・隸書)          | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅱ第13回  |
| 74. 書体の変遷② 字体・書体とその変遷との略史(行書・草書・楷書)         | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅱ第14回  |
| 75. 漢字と印章 印章に見る漢字の字体                        | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅱ第17回  |
| 76. 書作品の鑑賞(曹全碑、蘭亭序、九成宮醴泉銘)                  | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅱ第18回  |
| 77. 漢字の文化② 篆刻、古銭、呪符、対聯など(書作品以外の漢字文化)        | 単著 | 2013.4                 | 同上、漢字学総論Ⅱ第19回  |
| 78. 徐福が結ぶ日本と中国—一連雲港そして新宮—                   | 共著 | 2015.9                 | 大形徹・樊士進・泉佑里、張麟水・大形徹編『一衣帯水』地号、1-19頁、2015.                 |
| 79. 研究会紹介 伝統医療文化研究会                         | 単著 | 2015.12                | 『中国研究集刊』   |
| 80. 齊雲山探訪記 研究ノート                            | 共著 | 2017.3                 | 大形徹・木崎香織・趙婧雯・仇詩琪・大野朋子、『洞天福地研究』5 好文出版                     |
| 81. 出土資料と中国思想① 甲骨文と金文                       | 単著 | 2017.10撮影<br>2018.2配信  | 立命館大学 ビデオ配信  |
| 82. 出土資料と中国思想② 馬王堆漢墓の帛書・竹簡                  | 単著 | 2017.10撮影<br>2018.2配信  | 立命館大学 ビデオ配信  |
| 83. 出土資料と中国思想③ 敦煌文書                         | 単著 | 2017.10撮影<br>2018.2配信  | 立命館大学 ビデオ配信  |
| 84. 大形徹(李強訳)「江戸期に拳法を伝えたことされる陳元贊」(日本語・中国語対照) | 単著 | 2017.12                | 『一衣帯水』黄号(第4集)、10-41頁、2017.12.15                          |
| 85. 表紙のことは『尾張名所図会』陳元贊寓居図 解説                 | 単著 | 2017.12                | 『一衣帯水』黄号(第4集)、表紙裏  |
| 86. 表紙のことは(井真成)                             |    | 2019.1                 | 『一衣帯水』字号(第5集) 表紙裏  |
| 87. 漢字学研究会活動報告                              | 単著 | 2019.4<br>(実際には2019.9) | 『白川研究所便り』第13号  |



|  |          |            |  |
|--|----------|------------|--|
| 88. 復活再生 シカに願<br>い 霊獣「花鹿」モチー<br>フに 生え替わる角 神<br>聖視        |          | 2019.11.1  | 読売新聞 朝刊15面 「サイエンス 追う BOX」  |
| 89. 大学という風景 大学<br>生という時間                                 |          | 2019.12    | 柴崎友香さんの紹介2005年 人間社会学部社会学部パンフ<br>レット 転 載 <a href="http://www.human.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/435/akutagawa/bro2005_shibasaki.pdf">http://www.human.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/435/akutagawa/bro2005_shibasaki.pdf</a><br>(2019.12.14検索)  |
| 90. 柴崎友香のカメラがと<br>らえた大阪府立大学                              |          | 2019.12    | 柴崎友香撮影の写真をもとにビデオ作成し、音楽をつけた。 <a href="http://www.human.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/435/akutagawa/movie_shibasaki_photo2005.mp4">http://www.human.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/435/akutagawa/movie_shibasaki_photo2005.mp4</a> (2019.12.14検索) |
| 91. 新刊紹介 上田信『死<br>体は誰のものかー比較<br>文化史の視点から』モ<br>ノとしての死体の意味 | 書評       | 2020.1.1   | 中国史資料研究会会報第4号 志學舎 ネット配信  |
| 学術発表・講演・講座など   |          |            | 2011年より  |
| 1. 鹿角文様の肖形印ーオ<br>リエントの封泥と中国<br>の封泥ー                      | 研究<br>発表 | 2011.7.24  | 2011年度大阪府立大学人文学会、学術交流会館  |
| 2. 漢字の成立と歴史・白<br>川文字学                                    | 講義       | 2011.9.22  | 福井生涯学習センター   |
| 3. 九州西部における隠れ<br>キリシタン後裔の花文<br>化 (大形徹・歌野 礼)              | 研究<br>発表 | 2011.12.3  | 照葉樹林文化研究会2011 in Osaka「照葉樹林文化要素としての癒し植物の文化多様性をめぐる研究」(サントリー文化財団助成)の研究会、大阪府立大学 学術交流会館  |
| 4. 急須の注ぎ口はゾウの<br>鼻に似ている                                  | 講演       | 2011.12.5  | T L C 会 年末研修会「形の文化」、大阪第一生命ビル   |
| 5. 漢字教育士プレ講義検  | 講座       | 2011.12.17 | 立命館大阪梅田キャンパス、漢検一級・準一級合格者対象プレゼンテーション  |
| 6. 漢字の話 龍、年賀状、<br>甲骨文                                    | 講演       | 2012.2.4   | jass 十三  |
| 7. 仙人になるための飲食  | 研究<br>発表 | 2013.3.23  | 飲食文化研究会 国際基督教大学ダイアログハウス2階  |
| 8. 戦国楚帛画の舟よりみ<br>る復活再生観念の研究                              | 研究<br>発表 | 2013.10.12 | 日本中国学会 秋田大学  |
| 9. 《論語》的政治理念及<br>其実現方法                                   | 研究<br>発表 | 2013.11.29 | 国際儒学論壇・2013 中国人民大学 北京  |
| 10. 南岳と洞天福地ー既是<br>五岳又是洞天                                 | 研究<br>発表 | 2014.3.13  | 第1回日本・フランス中国宗教研究者会議 洞天福地研究会<br>専修大学  |
| 11. 建物などを守る辟邪呪<br>物ータイ・日本・中国<br>を通してー(大野朋子・<br>大形徹)      | 研究<br>発表 | 2014.5.25  | 形の文化会 大阪府立大学   |
| 12. 中国古代の人物画と龍<br>ー龍にはなぜ角がある<br>のか                       | 講演       | 2014.9.25  | 府大講座 大阪府立大学Uホール  |
| 13. 列仙伝的道德仙人的萌<br>芽                                      | 研究<br>発表 | 2014.11.26 | 国際道教論壇論、中国道教協会、中国江西省龍虎山  |
| 14. 中国の風水思想と洞天<br>福地                                     | 講演       | 2015.3.17  | 東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ<br>(TIEPh) 大地の思想ー聖地・風水・里山   |
| 15. 道教の過去と現在   | 講演       | 2015.5.17  | 歴史懇談会・歴史教室 弁天町   |

|   |      |               |   |
|---|------|---------------|---|
| 16. タイの呪術的植物（大野朋子・大形徹）                          | 研究発表 | 2015.5.30     | 形の文化会 isiteなんば  |
| 17. 『胎産書』『十四』の翻訳を通して見えてきたもの                     | 研究発表 | 2015.6.7      | 古典医療文化研究会 京都大学人文科学研究所本館   |
| 18. 〈胎産書〉之“始”                                   | 研究発表 | 2015.6.28     | 《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂国際研討會 復旦大学上海   |
| 19. 漢字文化とかな文化                                   | 講習   | 2015.8.10     | 教員免許更新講習、大阪府立大学   |
| 20. 『列仙伝』の女仙                                    | 講演   | 2015.10.11    | 文学とジェンダー研究会、大阪府立大学  |
| 21. 羽ばたく女性                                      | 講演   | 2016.2.2      | 羽ばたく女 i-siteなんば   |
| 22. 白川文字学                                       | 講義   | 2016.2.27-3.1 | 福井大学集中講義 白川文字学  |
| 23. 龍の角についてーキリン・レイヨウ・シカ                         | 講演   | 2016.3.27     | 説話文学美術研究会 大阪府立大学  |
| 24. 漢字と書道教育                                     | 講義   | 2016.4.23     | 放送大学  |
| 25. 魂のありか                                       | 講演   | 2016.4.24     | 大阪中医薬研究会 ニュー大阪ホテル.  |
| 26. 『胎産書』与徐之才「逐月養胎方」                            | 講演   | 2016.5.17     | 出土医学文献研究国際研討会 上海中医薬大学 国際交流中心、大形徹、池内早紀子、董涛   |
| 27. 四川省、三星堆の銅神樹についてートルコ アラジャホユク出土の太陽円盤との比較を通してー | 講演   | 2016.5.28     | 照葉樹林文化研究会 i-siteなんば s-1   |
| 28. 卑弥呼と鏡                                       | 講演   | 2016.7.5      | まちライブラリー@大阪府立大学第24回Academic Cafei-siteなんば   |
| 29. 《千金翼方・禁經》与日本奈良市出土二條大路咒符木簡                   | 研究発表 | 2016.7.30     | 大形徹・山里純一・大野朋子・佐々木聡・董涛・池内早紀子、「中国人民大学-美国羅格斯大学 首届国際道教文化前沿論壇論文集 中国・天岳幕阜山」pp.122-131 湖南省平江・陽光酒店で発表 |
| 30. 事例に基づいた採択される科研費計画調書の書き方（文系の一例）              | 講演   | 2016.8.8      | 科研費改革、採択される申請書<計画調書>の書き方 学術交流会館   |
| 31. 魂車について                                      | 研究発表 | 2016.9.18     | 東アジア権異学会 第107回定例研究会、テーマ「神霊表象の東西交渉学」学術交流会館・特別会議室   |
| 32. 対徐福寻找的仙药（灵芝）和仙人的探究-以图像资料为线索                 | 研究発表 | 2016.10.19    | 大形徹・樊士進訳 2016徐福文化(贛榆)国際論壇、中国江蘇省、連雲港、贛榆 和安湖國際大酒店   |
| 33. 中国古典に学ぶ生と死                                  | 対談   | 2016.10.27    | 重建懷德堂開学100周年記念講座「よりよく生きるために」第二部シンポジウム「中国古典に学ぶ生と死」。関西大学教授吾妻重二氏と対談                              |
| 34. 庭園・風水                                       | 講義   | 2016.11.4     | 神戸大学発達科学部授業   |
| 35. 中国のお金の起源となるタカラガイについて                        | 卓話   | 2016.11.17    | 有田ロータリークラブ有田市商工会議所  |
| 36. 書道鑑賞Ⅰ・書人研究                                  | 講義   | 2017.1.6      | 2 齣 大阪教育大学書作品・大形の書いたもの・寧斧成  |
| 58. 判子を刻ってみよう。                                  | 講座   | 2017.1.14     | 漢検ミュージアム 漢字博物館  |
| 37. タイ・石垣島・中国の手首にヒモを巻く習俗について                    | 研究発表 | 2017.6.10     | 大形徹・山里純一・佐々木聡・大野朋子、大阪府立大学学術交流会館   |
| 38. 『莊子』を読む                                     | 講座   | 2017.4～       | 上本町文化サロン。毎月一回、第四土曜日   |
| 39. Journal of Chinese Wrighting Systems 編輯会議   | 会議   | 2017.7.3      | 華東師範大学  |

|  |          |            |   |
|--|----------|------------|---|
| 40. 白川学の今後の展望                              | 講座       | 2017.9.2   | 立命館大学土曜講座 佐藤信弥氏と二人で。  |
| 41. 關於“有朋自遠方來”<br>原為“友朋自遠方來”<br>之可能性       | 基調<br>講演 | 2017.9.16  | 世界漢字学会、三峽大学（湖北省）  |
| 42. 年号と貨幣—中国貨幣、<br>漢興・大夏真興あたり<br>を起点として—   | 基調<br>報告 | 2017.10.21 | 歴史民俗博物館 歴博国際シンポジウム「年号と東アジアの<br>思想と文化」   |
| 43. 馬王堆の『胎産書』                              | 講演       | 2017.11.2  | 大阪府立大学 A15-2階会議室「文学とジェンダー」共同研<br>究ミニシンポジウム人間社会システム科学研究科人間科学専<br>攻共同研究プロジェクト                               |
| 44. 竹と猯・白熊・panda・<br>熊貓・大熊猫・小熊猫・<br>貓熊・大貓熊 | 研究<br>発表 | 2018.6.9   | 照葉樹林文化研究会2018 in OSAKA大阪府立大学A15棟130室<br>董涛と共同発表   |
| 45. 漢字の起源、甲骨・金<br>文・篆書の成り立ち                | 講座       | 2018.7.1   | 第21回記念教養講座、福井新聞社 風の森ホール、福井墨書会、<br>講義・揮毫   |
| 46. 大阪府立大学における<br>中国思想研究                   | 発表       | 2018.7.14  | 日中における中国思想・儒教研究の現状と展望 2018年度東<br>西学術研究所第4回研究例会 東アジア宗教儀礼研究班 関<br>西大学 見島惟謙館1階第1会議室                          |
| 47. 道教と医学 房中術の<br>精気と鍼灸の精気                 | 講演       | 2018.9.9   | 茨木神社 参集殿茨木神社復興イベント  |
| 48. 工具書中の熊貓                                | 基調<br>講演 | 2018.10.6  | 世界漢字学会、ドイツ ニュルンベルグ孔子学院  |
| 49. 關於“有朋自遠方來”<br>原為“友朋自遠方來”<br>之可能性       | 特別<br>講演 | 2018.10.23 | 人民大学特別講座※世界漢字学会2017と同内容   |
| 50. 王屋山与天壇                                 | 講演       | 2018.10.24 | 洞天福地与東亜文化意象、清華大学建築設計研究院“洞天福<br>地与東亜文化意向”工作會議 文化遺產保護中心   |
| 51. 辟邪絵                                    | 講演       | 2019.2.1   | 第13回市民フォーラム「辟邪 まよけ」市民フォーラム全6回<br>の第1回、i-siteなんば。池内早紀子氏と   |
| 52. ヒモを巻く呪術                                | 講演       | 2019.3.15  | 同第6回  |
| 53. 從洞天福地看《列仙<br>伝》的仙人与山                   | 講演       | 2019.6.23  | 翻訳、董涛。福建省寧徳。「第一屆 洞天福地 研究与保護国<br>際學術検討会 摘要及論文 初稿」福建省寧徳市蕉城区人民<br>政府・福建省寧徳市文化和旅游局・清華大学国家遺產中心・<br>清華大学建築設計研究院 |
| 54. 針灸吉田流《蟲書》的<br>成書過程—從圖示的<br>“虫”圖的比較入手—  | 研究<br>発表 | 2019.8.24  | 池内早紀子・大形徹（翻訳董涛），“从中古到近代写本文化与<br>跨文化交流”国际学术研讨会 北京大学、北京大学东方文学研<br>究中心                                       |
| 55. 第四組: 科技・写本・<br>習俗主持人・評議人               | 司會<br>他  | 同上         | 同 上 司會とコメントーター（4名分の発表のコメント）   |
| 56. 日本人小名中使用的<br>「丸」字與辟邪觀念                 | 研究<br>発表 | 2019.9.7   | 中国社会科学論壇（2019宗教学）“宗教学研究的傳承與創新”<br>國際學術會議 第二論壇 宗教研究的新視野 內蒙古大厦二樓<br>2号會議室                                   |
| 57. 推拿手法“袞”字考                              | 研究<br>発表 | 2019.9.27  | 李強・大形徹、世界漢字学会 立命館大学創思館  |
| 58. 国号「日本」の「本」<br>はどのような意味か                | 講演       | 2019.9.28  | 立命館土曜講座 衣笠キャンパス以学館G101  |
| 59. 仙人の飛ぶ形                                 | 研究<br>発表 | 2019.10.5  | 形の文化会第71回フォーラム（大阪）テーマ「シンボルと形」<br>大阪府立大学A15-229  |
| 60. 『論語』本立而道生と<br>富本・日本                    | 講演       | 2019.12.7  | 阪神中哲談話会440回例会、大阪府立大学A15-101   |

| 科学研究費補助金・民間助成                               | 代表<br>分担 | 年度          | 種別   |
|---|----------|-------------|--|
| 1. 『神農本草経』の仙薬について                           | 代表       | 1989年度      | 科学研究費補助金 奨励研究 (A)                              |
| 2. 道教の養生法                                   | 代表       | 1990～1991年度 | 笹川科学研究助成                                       |
| 3. 仙の意味の再検討と道教における仙の位置付け                    | 代表       | 1992～1993年度 | 科学研究費補助金 一般研究 (C)                              |
| 4. 新出土資料による中国古代医学の研究—張家山出土漢簡を中心に—           | 分担       | 1993～1994年度 | 科学研究費補助金 一般研究 (B) (代表、関西大学坂出祥伸)                |
| 5. 照葉樹林における伝統的農村の持つ環境保全機能—中尾佐助資料を活用して—      | 分担       | 1997～1999年度 | 日本生命財団助成 (代表、大阪府立大学山口裕文) (照葉樹林文化研究会)           |
| 6. 道教的密教的辟邪呪物の調査研究                          | 分担       | 2000～2002年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、関西大学坂出祥伸)                |
| 7. 神仙思想の成立に関する研究                            | 代表       | 2002～2005年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C)                              |
| 8. 六朝の楽府と楽府詩                                | 分担       | 2003～2005年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、神戸大学釜谷武志)                |
| 9. 南北朝楽府の多角的な研究                             | 分担       | 2006～2009年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、広島大学佐藤大志)                |
| 10. 中国古代における太陽とロータスと鳥と神仙思想                  | 代表       | 2007～2009年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C)                              |
| 11. 中国道教における山岳信仰と宗教施設のネットワークに関する総合的調査と研究    | 分担       | 2009～2011年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、専修大学土屋昌明)                |
| 12. ブータンの近代化にともなう住環境における人間・植物関係の変遷に関する研究    | 分担       | 2010年度      | 住友財団環境研究助成 (代表、東京農業大学山口裕文)                     |
| 13. 中国古代の雲気文などの文様に見える復活再生観念の研究              | 代表       | 2010～2012年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C)                              |
| 14. 照葉樹林文化要素としての癒し植物に関わる文化多様性をめぐる研究         | 分担       | 2011年度      | サントリー文化財団人文科学、社会科学に関する研究助成 (代表、東京農業大学山口裕文)     |
| 15. 隋唐楽府文学の総合的研究                            | 分担       | 2012～2014年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、関西大学長谷部剛)                |
| 16. 中国道教の地理的イメージと宗教的ネットワークに関する総合的調査と研究      | 分担       | 2012～2015年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、専修大学土屋昌明)                |
| 17. 中国古代における龍と舟と扶桑にみる復活再生観念の研究              | 代表       | 2013～2015年度 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C)                              |
| 18. タマシイの観点からみた中国を中心とする東アジア辟邪文化の総合的研究       | 代表       | 2016～2018年度 | 平成28年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 分担者、山里純一、大野朋子、佐々木聡 |
| 19. 中国道教における聖地と巡礼に関する総合的調査と研究               | 分担       | 2016～2018年度 | 平成28年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、専修大学土屋昌明)          |
| 20. 伝統的文化を背景とした植物利用が地域性の形成と地域環境に与える影響に関する研究 | 分担       | 2018～2020年度 | 平成30年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) (代表、神戸大学大野朋子)          |
| 21. 道教の洞天思想における聖地と巡礼の調査研究およびその東アジア思想文化史への影響 | 分担       | 2019～2021年度 | 平成31年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (代表、専修大学土屋昌明)          |

## その他

○博士論文審査主査 5名

○雑記

- ・「日原先生のこと」『中国研究集刊』地（2）号 pp.61～pp.62、1985年
- ・「大庭先生の思い出」、『大庭脩先生追悼文集』、近つ飛鳥博物館、2003年

○小説

- ・「卒業」（筆名邢澈）『愛眼』奈良女子大学附属小学校育友会文集、2004年
- ・「白玉環」（筆名邢澈）、幽 = Yoo : ghostly magazine vol.01 ダ・ヴィンチ2004年7月号増刊、カドカワムック

○装丁、デザイン、ポスター等

- ・平木康平、大形徹編『列仙伝』（漢文講読課本）朋友書店、1989.4、初版のみ
- ・大形徹、坂出祥伸・頼富本宏編『道教的密教的辟邪呪物の調査・研究』BNP、2005
- ・大阪府立大学大学院人間社会学研究科 [編]『人間社会学研究集録』2006～
- ・大阪府立大学人文学会 [編]『人文学論集』表紙（絵および装丁）、「表紙のことは」。2007サンマ・2008ヒイラギ・2009イカ・2010レンギョ・2011イカ・2012キンメダイ・2013アカエビ・2014ヒラメ・カレイ・2015イワナ・2016タイ・2017線・2018点・2019  
○▲□・2020反故

- ・論潮の会 [編]『論潮』表紙（題字・絵・装丁）、2005（泉侑里さんと）、2008（題字篆書）、2011（魚、題字篆書）、2014（燕、題字楷書）、2017（兎・鮫、題字行書）
- ・専修大学土屋昌明研究室内『洞天福地研究』編集委員会『洞天福地研究』好文出版、1号 2011～、1号委羽山、2号華山
- ・立命館大學白川静記念東洋文字文化研究所 [編]『漢字學研究』表紙、2013～佳・先など
- ・張麟声、大形徹編『一衣帯水』：日中間の人物交流と異文化間コミュニケーションの表紙、題字、天・地・玄・黄・宇号、2014～
- ・「人間社会学部・人間社会学研究科パンフレット」2005～2013、受験生各位、大学という風景 大学生という時間、進学それとも就職、大学院の魅力をさぐる、もうひとつの人間社会学研究科パンフ通巻9号サツマイモの大学院生など
- ・学情センターのTシャツの文字、2008.7、甲骨文、「學」
- ・大学院総合科学研究科の人間文化科学研究科ホームページ作成
- ・日本道教学会ポスター、第51回大会（大阪府立大学2000年）、第65回大会（大阪芸術大学2014年（仇詩琪さんと）、第69回大会（広島大学2018年）

- ・世界漢字学会ポスター、2019、立命館大学土曜講座ポスター、2019

○新聞・テレビ・雑誌等

- ・京都新聞、産経新聞他（共同通信配信）、1996.11.26、「藤原麻呂邸跡から出土の木簡」
- ・奈良新聞他、1998.3.25、キトラ古墳の青龍、共同通信配信、に関する記事、青龍に関する説を紹介
- ・朝日新聞、2003.10.29、夕刊、「面白ゼミ」、取材、松尾慈子
- ・産経新聞、2006.10.21、「東アジアの安心と安全」、同志社大学ヒューマンセキュリティ研究センター、長野仁氏発表のコメンテーター
- ・読売新聞、福井版、2011.8.8、「白川文字講義小中教員も受講 福井大」
- ・北海道新聞、2015.5.1、タンチョウヅル、取材、北海道新聞釧路支社報道部 中川麻衣子
- ・福井新聞、2017.3.4、「県内学生140人が「白川文字学」学ぶ 福井で5大学共通講義」
- ・福井新聞、2019.2.27、「白川文字学に学生興味 5大学対象共通講義始まる」久保貴史
- ・NHK、2018.9.12、ネーミングバラエティ 日本人のおなまえっ！【船の〇〇丸の謎】に出演
- ・小松田直、「不老不死伝説「始皇帝・巨大地下墳墓の謎」』『ボーダーランド』、角川春樹事務所、1997年8月号、pp.6～pp.12、仙人に関して大形の説を紹介。
- ・『ダ・ヴィンチ』、メディア・ファクトリー、2002年、2月号、pp.34～pp.35。取材・文岩崎真美子、作家専門家に聞くオカルトの眺め方、中国古代思想、魂の研究者として紹介される。